広報紙から抜き取って
お使いください

4-5　自然遺産に学ぶ教育の充実

○脊椎動物化石保護・活用事業 継続

丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想に基づき、化石発掘体験イベントや全小学校を対象とした校外学習プログラムを実施し、篠山層群及び脊椎動物化石の保護・活用を推進します。また、宮田の重点保護区域において調査を行い、小・中学生を対象として体験学習の場として活用を推進します。

施策の基本方向５　郷土を愛し誇りに思う人材育成の推進

5-1　ふるさと丹波篠山を愛する心の育成

○郷土を知る取組 継続

小学生が丹波篠山市の歴史、生物、生活や特産などを学習する際の教材として、小学校社会科副読本「わたしたちの丹波篠山市」、「丹波篠山ふるさとガイドブック」を活用し、地域学習の取組を充実します。

丹波木綿づくり（西紀小）

○郷土味学（みがく）講座の実施 継続

丹波篠山の食材を使い、郷土料理（郷土食）や新しい食文化を伝承・創造する人材を育成します。令和２年度は、郷土料理レシピ集「よろしゅうおあがり」の第２弾の製作に取り組みます。

郷土味学講座

5-2　学校給食の充実と食育の推進

○丹波篠山産コシヒカリ・地元食材を活用した学校給食の充実 継続

地元で生産された安全・安心な丹波篠山産コシヒカリを100％使用し、地元の野菜を積極的に活用することで、食材への慈しみや生産者への感謝の気持ち、ふるさとを愛し誇りに思う心を育みます。

○丹波篠山らしい特色ある献立づくりの充実・食育推進活動の充実 継続

学校給食センターと学校・家庭・地域とが連携して食育の推進に取り組みます。全国学校給食甲子園での優勝は、農都・丹波篠山を全国にアピールすることができました。これからも日本一の給食献立を維持できるよう努めるとともに、優勝献立のレシピを公開し、丹波篠山食材を広く周知します。

学校給食センター見学
（西紀きた幼）

令和２年度　丹波篠山の教育（概要版）
発　　行　　丹波篠山市教育委員会（兵庫県丹波篠山市北新町 41）
問い合わせ　　丹波篠山市教育委員会教育総務課（TEL 079-552-5709）

広報紙から抜き取って
お使いください

令和２年度　**概要版**

丹波篠山の教育

篠山城跡南堀のハス復活！地域とともに取り組んだ篠山小児童

教育理念

「一人一人が光り輝き、生きがいをめざす」

～子どもが自ら学び、地域とともにある学校づくり～
～学びの機会を充実し、生き生きと活躍できるまちづくり～

共有する道しるべ

一.「おはよう！」　人より先にあいさつをしよう
一.「ありがとう」　感謝の気持ちをもとう
一.「どうしたの？」　気づきを大切にしよう
一.「ちょっとまって！」　勇気をもって行動しよう
一.「ごめんなさい」　素直に謝る心をもとう

丹波篠山市教育委員会

施策の基本方向１　子どもの根っこを育てる乳幼児教育の推進

1-1　“子育ていちばん”に向けて

どんぐりマーケット（大山幼）

○就学前の保育環境の整備 拡充

子育て家庭のニーズに応じた幼児期の教育･保育を提供できる環境整備を進めるため、保育園舎及び幼稚園舎の長寿命化計画を策定します。

1-2　子どもの根っこを育てる環境づくり

○ふた葉プロジェクトの推進 継続

公立・私立全ての保育園・幼稚園・こども園において、丹波篠山の自然を活かしながら市民みんなで子どもたちの育ちを支えていることについて、分かりやすく示し、共有できるように「丹波篠山市幼児教育コンセプトブック」を作成します。

クッキングの時間（城南幼）

葉っぱのお風呂屋さん（今田幼）

1-3　乳幼児教育の充実

○幼児教育の推進 継続

丹波篠山ならではの自然を最大限に生かせるような保育･教育環境を整えます。また、公私立の連携強化を図るなど、さらなる研修の充実も含め、職員の資質向上を図ります。

体幹づくり（味間こども園）

○子どもの体幹を鍛える取組 継続

全ての公立保育園・幼稚園・こども園において、体幹づくりを意識した保育を実施します。

○諸感覚を発達させる保育・教育活動 継続

諸感覚（触覚、視覚、聴覚、嗅覚、味覚）の中でも最も原始的な感覚である触覚の発達に向け、粘土遊び、水遊び、砂遊び、泥遊び等を全ての公立保育園・幼稚園・こども園において実施します。

川遊び（かやのみ幼）

1-4　子ども・子育て支援の体制づくり

○病児保育事業の実施 継続

病気時及び病気回復期の子どもを保育することにより、子育てと就労の両立支援を図ります。

○放課後児童健全育成事業の充実 継続

放課後の児童の健全育成を図るため、安全・安心できる生活の場を提供し、仲間づくりや生活指導を行います。

○幼稚園預かり保育の充実 拡充

篠山幼稚園児、たまみず幼稚園児及び岡野幼稚園児を対象にした預かり保育施設（１ヵ所）を令和３年４月から開設できるよう取り組みます。

○在住外国人に対する学習支援 継続

国際理解教育プログラムの研究開発・提供、日本語教室うりぼう・学習支援教室うりぼうくらぶの開催に取り組みます。

さぎそう学園と今田小の連携事業

○丹波篠山市高齢者大学の充実 継続

高齢者一人一人の生きがいづくりの場を提供するとともに、受講生の意見を反映させ、魅力ある講座を開設します。また、オープン講座の取組など、高齢者大学全学園と小学生などが交流できる環境づくり、機会づくりを進めます。

○丹波篠山映像祭（えぞー）2021（ニーゼロニーイチ）の実施 継続

映像コンテスト丹波篠山映像大賞では、「生きる」をテーマに作品を募集し、作品鑑賞を通してこころ豊かな時間を提供します。また、参加型イベントや映像体験イベントを実施し、市民の皆さんが映像づくりに興味を持つきっかけになる映像祭を目指します。

○丹波篠山市史編さん事業 拡充

令和10年度の全編刊行を目途に神戸大学と連携し、計画的な市史編さん作業を進めます。令和２年度は、市史編さんに必要な委員会を立ち上げます。

4-2　スポーツの推進

○第41回丹波篠山ABCマラソンの開催 継続

安全安心で魅力ある大会となるよう関係機関との連携を図るとともに、市民ボランティアスタッフを広く呼びかけ、市民参画による大会運営を通して、活力あるまちづくりを進めます。

4-3　文化財と町並みの保存と活用

○歴史文化基本構想推進事業の実施 継続

「歴史文化まちづくり資産」を総合的に保存・活用するため、「文化財保存活用地域計画」を策定します。また、地域の歴史文化を活かした取組に対する助成を充実します。

八上城跡の伐採整備

○国史跡の環境整備 継続

史跡篠山城跡高石垣の修理を計画的に推進するとともに、環境美化のために石垣付近の草木伐採や草刈りなどを行います。また、史跡八上城跡の主郭部及び登山道の管理と整備を行います。

○篠山地区と福住地区における町並みの保存と活用 継続

重要伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物等の保存修理を、保存地区住民と連携して取り組みます。

4-4　文化・芸術の振興

○丹波篠山市立文化施設４館運営の充実 継続

文化施設４館（篠山城大書院、歴史美術館、青山歴史村、武家屋敷安間家史料館）において、丹波篠山の歴史文化の発信を継続します。

○交響ホール主催事業の実施 継続

子どもから大人まで誰もが楽しめる魅力ある公演を実施し、心豊かな生活を支援します。「石川さゆりコンサート」、「アロージャズオーケストラ」、「古澤巌コンサート」、「キュウソネコカミコンサート」など、ホール主催事業12公演を開催します。

3-3　家庭の教育力の向上

○家庭教育支援事業の実施 継続

子育てをする親が、必要な知識を学び、ともに助け合い、仲間づくりができるよう、親子の絆プログラム「赤ちゃんがきた！」及び「きょうだいが生まれた！」の講座を開催します。

「赤ちゃんがきた！」

3-4　教職員の資質能力の向上

○いじめの防止等への的確な対応 継続

いじめの積極的認知に努め、いじめ対応チームを中核として、いじめの防止等に係る年間計画を整備し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に組織的に努める体制づくりを推進します。

○教職員の勤務時間適正化及び業務の効率化の推進 拡充

働きやすい職場づくりを進めるため、教職員の勤務時間の適正化、業務の効率化を図り、子どもたちと十分に向き合うための時間を確保します。令和２年度は、特に保健関係の業務について電子化と統一化を進めます。

○丹波篠山市教育研究所の設置 新規

丹波篠山市における学校園教育の一層の充実を図るため、「未来の丹波篠山市を支える教育の創造」を理念とする丹波篠山市教育研究所を設置します。「調査及び研究に関すること」、「資質・能力の向上に関すること」「教育相談及び育成支援に関すること」など、本市における学校園教育の一層の充実を図るための事業を推進します。

3-5　保幼小中高大の連携

○保幼小連携の強化 継続

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続をめざし、地域や各園の実情に応じたアプローチカリキュラムを活用した幼小連携の充実を図ります。また、私立園も含め、保育園・幼稚園・こども園の連携を強化します。

○中高連携の推進 継続

中学生が、学びたい学校を選択する際の一助となる「オープン・ハイスクール」に積極的に参加するなど、進路指導の充実を図ります。

施策の基本方向４　人生100年時代を豊かに生きる学びの推進

4-1　主体的に生きるための学びと場の充実

○「図書館ビジョン」による図書館運営 継続

「図書館ビジョン」に基づき、あらゆる世代に応じた図書館事業をボランティア等との協働によって推進します。「丹波篠山に住もう帰ろう運動」の支援として、就業支援や生活支援、行政支援に関する資料を積極的に収集し、情報発信に努めます。

ハートピアセンターでの出張図書館

○市民センター図書コーナーと配本所の運営の充実 継続

職員の従事時間を延長し、予約・リクエストの受付やレファレンスサービスの提供など図書館サービスの充実を図ります。また、地域に出向き、図書の貸し出しや利用者登録など出張図書館サービスを行い、図書館利用のPRを行います。

○障がい者社会学級の運営支援 継続

兵庫県が進める「くすの木学級（聴覚障がい）」「青い鳥学級（視覚障がい）」は、障がい者が社会参加する貴重な機会となるため、継続的に事業運営を支援します。

丹波青い鳥学級

施策の基本方向２　生きる力を培い創造性を伸ばす教育の推進

2-1　確かな学力の確立

○学力向上プロジェクト事業 継続

「学力向上プロジェクトチーム」を設置し、チーム及び指定研究校を中心に「確かな学力」の定着に向けた学力向上方策の研究に取り組みます。また、各種研修を通して、全学校で主体的･対話的で深い学びの視点から授業改善に取り組みます。

グループでの話し合い活動
（城北畑小）

○主体的な学習習慣の育成 継続

主体的な学習習慣の育成を目指して、全学校で、家庭と連携した取組の工夫・改善を図り、朝学習、放課後学習、家庭学習等を充実します。また、児童生徒が、各々の課題･習熟度に最適な学習プリントを紙ベースやタブレットパソコンで、繰り返し学習できる「学習プリント配信システム」を活用し、「自らわかる」学習に取り組める環境整備を行います。

ロボットプログラミング
体験教室（大山小）

○読書活動の充実 継続

学校図書館支援員を配置し、読書活動の充実と読書環境の整備を行います。また、学校と中央図書館との連携を深め、読書意欲を高め、活用しやすい図書館、読書活動の充実を図ります。

○情報活用能力の推進 拡充

教育の情報化推進基本計画に沿って、情報教育や校務の情報化を進めます。令和２年度は遠隔教育システムを導入し、多様な学習環境や個に応じた指導方法の工夫を図ります。このシステムを活用して他校の児童生徒と一緒に授業を行うことにより、様々な意見や考えを共有し、表現力などの資質・能力を育成します。

イングリッシュ・デイ・キャンプ

○外国語教育の充実 継続

外国語指導助手（ALT）や小学校外国語学習指導補助員（JTE）との外国語を用いたふれあいや対話を通して、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。授業だけではなく、夏季休業中には小学３年生～６年生児童を対象としたイングリッシュ・デイ・キャンプを開催し、ALTやJTEと英語を使って交流しながら、様々な活動に親しむことによりコミュニケーション能力の向上を図ります。

韓国の歴史と文化を学ぶ
（多紀小）

2-2　豊かな心の育成

○道徳教育の充実 継続

道徳科における指導の充実を図り、児童生徒の社会性や規範意識、思いやりの心などの育成及びふるさとへの誇りや愛着など「ふるさと意識」の醸成を図ります。また、発達段階に応じ、各教科等や体験活動との関連及び地域や家庭の実態を考慮した指導を行います。

地域の方を招いての人権教室
（西紀南小）

○学校における人権学習の充実 継続

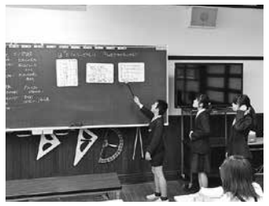
全ての教育活動を人権教育の視点で捉え、自分の大切さとともに他の人の大切さも認めることができる態度や資質を育成します。

○情報モラル教育や研修の充実、青少年育成に係るインターネット社会への対応 継続

相手の状況や気持ちを考えた適切なコミュニケーションのあり方、個人情報の重要性、肖像権や著作権等の知的財産権、情報発信に伴う責任、トラブル回避の方法、長時間のインターネット利用による心身の健康への影響等について、児童生徒が自ら判断し、考える学習活動を充実させ、学校と家庭が連携して情報モラルを育成します。

○環境体験事業、自然学校、トライやる・ウィーク、「トライやる」アクションの充実 継続

子どもたちの社会的自立に向けて豊かな人間性、社会性を培い学ぶ意欲を喚起するとともに、人間としてのあり方や生き方を考え、社会の一員としての自覚を深める「体験教育」に、市民の参画と協働のもと取り組みます。


環境問題についての発表（八上小）

篠山産業高校との農業体験（岡野小）

自然学校（味間小）

農業体験（篠山東中）

○あいさつの実践 継続

学校・家庭・地域が連携した啓発・実践活動に継続して取り組み、日頃からあいさつが交わせる、明るく温かいまちづくり、学校づくりをめざします。

朝のあいさつ運動（城東小）

写真修復ボランティア（篠山中）

○ボランティア（地域貢献）活動の推進 継続

小学校では、ふるさと教育をはじめ、環境体験や自然学校などの体験教育の充実を図り、中学校では、トライやる・ウィークや「トライやる」アクションの充実を図るとともに、様々なボランティア（地域貢献）活動への積極的参加を啓発します。

2-3　健やかな体の育成

○「丹波篠山市小・特別支援学校陸上記録会」「体力・運動能力調査」の実施 継続

児童生徒の運動能力の向上と体力づくりへの関心・意欲を高めるとともに、体力の状況を把握・分析し、学校における体育・健康に関する指導などの改善を図ります。

体育発表会（西紀北小）

○部活動支援事業、部活動のあり方検討プロジェクト事業 拡充

専門的な知識と技能を有し、スポーツ、音楽などにおける活動の楽しさや段階的な指導ができる地域の指導者を「部活動支援員」として活用するとともに、令和２年度からは会計年度任用職員の「部活動指導員」を任用し、技術指導に加え試合や大会などに単独で引率できるようにします。また、生徒が生涯にわたってスポーツや文化に親しむことができる資質や能力の育成をめざし、持続可能な部活動・生涯スポーツの仕組みを、大学の専門家と連携し調査・研究を進めます。

2-4　社会的自立に向けたキャリア形成の支援

○キャリア教育の推進 継続

目標を持ち、具体的な計画をたて、それに向かって進んでいく力（キャリアプランニング能力）をはじめ、コミュニケーション能力や課題対応能力など、自立した社会人・職業人として将来に必要な能力の育成をめざすキャリア教育の支援に、家庭や地域との連携のもと取り組みます。

現場・施設実習（篠山養護）

キャリア形成事業
～夢プラン～

○小中連携心のサポート事業の実施 継続

小中合同事業を開催し、９年間の育ちと学びの連続性を踏まえ、児童生徒の心理的な安定や学力向上を図ることを基本とした小中連携のあり方について実践的な研究を行います。

2-5　特別支援教育の充実

○早期発達支援室の運営 継続

発達障害及び知的障害のある幼児に対し、適切な早期支援を行うための個別発達支援、交流及び共同学習を通した発達支援を行うため、早期発達支援室を設置し、個々の成長及び円滑な就学期への移行を促していきます。

自立活動 自転車でお出かけ（城南小）

○校園内体制の整備及び広域的・有機的なネットワーク形成 継続

特別支援教育に係る校園内委員会を設置し、個に応じた指導・支援の充実をめざし、子どもが必要とする支援に応じた環境整備の推進を図ります。

○障がいのある子どもたちへの合理的配慮の提供 継続

障がいのある子どもたちが、安全かつ円滑に学校生活を送ることができるよう、障がいの状態に応じた環境にするために必要に応じて環境整備を推進します。

施策の基本方向３　子どもの学びを支える環境づくりの推進

3-1　安全安心で質の高い学習環境の整備

○地域に信頼される安全で安心な学校園づくり 継続

安全管理、安全教育、組織活動を通して未然防止、救急対応に係る校内体制を充実し、安全で安心な学校園づくりを推進します。また、子どもたちが安心して学校生活が送れるように、令和２年度は各園に防犯カメラを設置します。

○学校施設の充実 継続

児童生徒の熱中症予防など健康面への配慮や、意欲を持って学べる学習環境への改善などを図るため、全小中学校の特別教室に空調設備を整備します。また、学校施設の長寿命化計画を策定します。

交通安全教室（古市小）

防災訓練（丹南中）

○丹波篠山産木材を活用した教育環境づくり 継続

全小学校の新１年生を対象に丹波篠山産木材を使用した机・椅子を引き続き導入します。

3-2　地域とともにある学校づくり

○コミュニティ・スクールの推進 継続

保護者や地域住民等で構成する学校運営協議会を中心に、学校・保護者・地域がともに協働しながら、地域の中にある学校として、地域に信頼される学校づくりを推進します。

学校運営協議会（今田中）

生徒を交えた学校運営協議会（西紀中）

○ひょうご放課後プランの充実 拡充

放課後や休日に小学校等の施設を活用し、地域住民の参画を得て、遊びやスポーツを通して地域で子どもを育みます。令和２年度は、味間、西紀、岡野の３小学校区に加え、新たに城東小学校区で取組を開始します。

岡野子ども教室

今田通学合宿

○子どもの居場所づくり推進事業「通学合宿」の充実、「トライしようDAY」の実施 継続

小学生から高校生までの児童生徒が公民館等で集団生活を送りながら通学し、もらい風呂や交流活動を取り入れる「通学合宿」、また、小学生が主体的に地域で実施される行事や奉仕活動、学習活動等に参加する「トライしようDAY」など、地域の教育力を活かした事業を進めます。